

東日本大震災についての武蔵野市への要望

日夜に及ぶ震災対策・被災地への支援に対し、敬意を表します。この間、市民から寄せられた要望についてお伝えし、対策を要望します。

記

- 1、原発事故は収束の見通しがたたず市民の不安が広がっています。市は水道水の検査の努力をしていますが、検査体制が弱いため結果の公表に何日もかかっています。各自治体の水のすみやかな検査ができるよう国に対し責任をもって検査体制を強化することを求めること。また安全な水を確保すること。
- 2、防災無線の箇所数を増やすなど防災無線の改善、また、ホームページなどを見られない、特に高齢者世帯への情報伝達の工夫をすること。
- 3、被災自治体への職員の派遣など努力されていますが、さらなる被災者への生活支援にむけて、被災地へのボランティアを受入れる窓口を設置すること。民間住宅も含め被災者受け入れの体制をととのえること。
- 4、夏の計画停電が予想されますが、医療機関・介護施設・在宅医療の患者などが停電時に影響がでない対策をいまからとること。また、太陽光利用など再生可能エネルギー活用の飛躍的普及の特別な対策を検討すること。省エネ対策も強力にすすめること。自動販売機の停止なども検討すること。
- 5、安全最優先の原子力行政に転換し、既存原発の総点検、原発の新規増設の中止、浜岡原発中止などを政府に求めること。
- 6、学校の校舎、体育館、公共施設の耐震調査と総点検をあらためておこなうこと。また体育館が避難所として機能するよう、公衆電話の設置、自家発電装置の設置など、整備すること。
- 7、住宅などの耐震化をすすめるために、耐震診断と部分的な耐震補強策もふくめた耐震助成の拡充をおこなうこと。住宅リフォーム助成をセットとしたものにして使いやすいものすること。家具転倒防止器具の配布・取り付け事業を再開すること。
- 8、大震災をふまえて、災害時要援護者見守り事業、帰宅困難者支援など市民参加、職員参加で防災計画の総点検、見直しをおこなうこと。